

●鉄筋コンクリート構造シンポジウム（その3）●

規準・指針類に示されていないRC部材の構造性能

<主催> 日本建築学会
構造委員会 鉄筋コンクリート構造運営委員会 鉄筋コンクリート部材性能小委員会

鉄筋コンクリート構造運営委員会では、靱性指針（1999年）、性能評価指針（2004年）、RC規準改定（2010年）、保有水平耐力規準（2016年予定）と、過去15年ほどの期間に多くの規準・指針類を刊行している。これらの規準・指針の内容は、新しい研究成果を反映して改善された項目が多々あるが、1981年の新耐震設計法の施行前後からあまり内容が変更されていない項目も含まれている。一方、1990年前後には、規準・指針に盛り込むことができなかった研究成果も含めて「建築耐震設計における保有耐力と変形性能」などの最新の研究状況を説明する解説書が刊行され、設計者や研究者が、規準・指針の位置づけを確認することができた。しかし、ここ20年ほどこうした解説書は、刊行されていない。こうした解説書の刊行を目指して、現状報告と今後のRC造建物の耐震設計の方向性を討論するための公開討論会を開催する。第3回目となる今回は、柱梁・壁・接合部・杭などRC部材の挙動に対して議論を行う。

日 時： 2017年1月19日（木） 13:00～17:30
場 所： 建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

内 容（各講演の題目等は変更されることがあります）

司会：中村聡宏（建築研究所）

1. 主旨説明 : 河野 進（東京工業大学）
2. 講演
 - 2.1 材料 : 河野 進（前掲）
 - 2.2 梁・柱 : 日比野陽（広島大学）、松川和人（東京大学）、掛 悟史（竹中工務店）
 - 2.3 柱梁接合部 : 楠原文雄（東京大学）、高橋 之（大同大学）、
 - 2.4 耐震壁 : 坂下雅信（建築研究所）、松井智哉（豊橋技術科学大学）、中村聡宏（前掲）
 - 2.5 杭 : 岸田慎司（芝浦工業大学）、渡邊秀和（東京工業大学）、
 - 2.6 損傷 : 高橋典之（東北大学）、高森直樹（フジタ）
 - 2.7 時間依存性 : 渡辺英義（大成建設）、秋田知芳（山口大学）

司会：日比野陽（前掲）

3. 質疑討論

4. まとめ : 河野 進（前掲）

定 員：150名（事前申し込み優先。当日の空きは、会場先着順）

参加費：会員5,000円、会員外6,000円、学生3,000円（資料代3,000円含む、当日現金払い）

申込方法：建築学会 HP「催し物・公募」よりお申し込みください。<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1699>

問 合 せ：事務局事業グループ 中村 Tel.03-3456-2057